

報道関係各位

2013年11月7日
慶應義塾大学 SFC 研究所

慶應義塾大学 SFC Open Research Forum 2014 開催

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス (SFC) 研究成果発表会

「PROTO-UNIVERSITY プロト・ユニヴァーシティ」

慶應義塾大学 SFC 研究所(所在:慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス/所長:小川克彦)は、11月17日(月)から22日(土)まで、研究プロジェクトの現状と将来計画を紹介する研究発表イベント『SFC Open Research Forum 2014(ORF2014)』を東京ミッドタウン ホール B1F、ニコファーレ、SuperDeluxe ほか、都内各地のフィールドで実施します。

今年は「PROTO-UNIVERSITY プロト・ユニヴァーシティ」をテーマに、ORF WEEK として例年より開催期間を大幅に拡大して、11月17日(月)から20日(木)までは都内の様々な場所でサテライトイベントを実施、21日(金)、22日(土)の2日間は、メインイベントとして、東京ミッドタウン ホール B1F、ニコファーレでセッション、ワークショップ、展示を行います。

研究成果発表のイベントとしてご紹介いただくとともに、ぜひご来場のうえ、ご取材をお願い申し上げます。

SFC Open Research Forum 2014 「PROTO-UNIVERSITY プロト・ユニヴァーシティ」開催概要

日時: 11月17日(月)~22日(土)

サテライトイベント: 17日(月)~20日(木)

メインイベント: 21日(金)、22日(土)

開催場所: 東京ミッドタウン ホール B1F、ニコファーレ、SuperDeluxe ほか、都内各地のフィールド

プログラム: 11月21日(金)

- ・東京ミッドタウン【展示・ワークショップ・セッション】10:00-20:00 (9:30 開場)
- ・ニコファーレ【セッション】13:00-21:00 (12:30 開場)

11月22日(土)

- ・東京ミッドタウン【展示・ワークショップ】10:00-18:00 (9:30 開場)
【セッション】10:00-19:30 (9:30 開場)
- ・ニコファーレ【セッション】10:00-19:30 (9:30 開場)

テーマ: PROTO-UNIVERSITY プロト・ユニヴァーシティ

主催: SFC 研究所

実行委員長: 脇田 玲 (慶應義塾大学環境情報学部教授)

内容: ORF WEEK 中8つのサテライトイベントを実施するほか、メインイベントの2日間で40のセッション、150を超える展示、ワークショップ、スマホ未来コンテスト、未来の政策コンテストなどを予定。

公式ウェブサイト: <http://orf.sfc.keio.ac.jp/>

本件に関する問い合わせ先

慶應義塾大学 SFC 研究所 ORF 事務局 担当: 西村 加藤 河越

TEL: 0466-49-3436 FAX: 0466-49-3594 e-mail: orf-aria@sfc.keio.ac.jp

※メインイベント開催準備日(20日)、開催日(21日・22日)につきましては、03-3479-4006 までご連絡ください。

※ロゴ、昨年度の会場風景の画像データについては事務局までお問合せ下さい。

参考資料

■サテライトイベント

ORF WEEKである11月17日(月)から20日(木)までは都内の様々な場所でサテライトイベントを実施いたします。詳細はwebサイトをご確認ください。

「ORF2014 Satellite at GREE After Internet は世界をどう変えるか？」

日時: 11月17日(月) 19:30-21:00

場所: グリー株式会社セミナールーム

<http://orf.sfc.keio.ac.jp/504/>

「ORF2014 Satellite at GREE ゲームは社会に貢献できるか？」

日時: 11月18日(火) 19:10-20:40

場所: グリー株式会社セミナールーム

<http://orf.sfc.keio.ac.jp/506/>

自分らしくいきいきと美しく生きるための Workshop

日時: 11月18日(火) 1回目: 15:00-17:30(女子大生対象) 2回目: 18:30-21:00(社会人女性対象)

場所: 多目的クリエイティブスペース amu

<http://orf.sfc.keio.ac.jp/508/>

広報(パブリックリレーションズ)のすすめ~人を”巻き込む”秘訣とは~

日時: 11月18日(火) 18:00-21:00

場所: 会員制学生ラウンジ CAMPUS PLUS

<http://orf.sfc.keio.ac.jp/510/>

未来ビジョンを言語化するフューチャー・ランゲージとその実践について

日時: 11月19日(水) 18:00-20:00

場所: コクヨ 霞ヶ関ライブオフィス

<http://orf.sfc.keio.ac.jp/512/>

SFC が霞ヶ関で日本の新しい電力システムを創る

日時: 11月19日(水) 19:00-21:00

場所: 虎ノ門ヒルズフォーラム

Self Travel Cafe~自分らしさを見つけよう~

日時: 11月20日(木) 16:00-19:00

場所: 多目的クリエイティブスペース amu

<http://orf.sfc.keio.ac.jp/514/>

慶應 SFC Open Research Forum 2014 Preliminary Session「Live」

日時: 11月20日(木) 18:30-21:30

場所: SuperDeluxe

<http://orf.sfc.keio.ac.jp/1564/>

■東京ミッドタウン・ホール(B1F)

ORF メインイベント会期中、東京ミッドタウン・ホール B1F では SFC 研究所の最先端の研究内容を展示します。(約 90 団体、150 プロジェクト)今年度は新しい試みとして来場者の皆様実際に何かを「つくる」ことにご参加いただける「ワークショップ・ブース」を設けます。PROTO-UNIVERSITY という今年のテーマに合わせて「未来のエキストリームな工房・研究室」を体感していただけます。



■ワークショップ情報の抜粋

W01 加藤文俊研究室 / 環境情報学部

ORF という現場でフィールドワークを行い、ブースを移動可能な編集室に見立て、ラジオやかわら版といった様々なメディアを通して成果を発信します。最低限の道具さえあればどこへでもでかけることができる移動編集室は、キャンパス外での活動の幅を広げ、また、成果物を発信する媒体を多様化させることで、あらたな交流を生み出すことができるでしょう。それは同時に ORF をより多くの人へと発信し、理解を深めることでもあります。

W04 井庭崇研究室 / 総合政策学部

本ワークショップでは、「創造的に生きるためのパターン・ランゲージ」をつくることに挑みます。会場では 2 日間のあいだに、経験から「パターンの種」を抽出することから、パターンの執筆、ブラッシュアップ、冊子の編集までの一連のプロセスが進行しています。来場者のみなさんには好きなタイミングで参加していただき、パターン・ランゲージ制作を体験していただきます。創造的に生きることについて、ともに学び、ともに探究しましょう！

W06 脇田玲研究室 / 環境情報学部

自然が作り出す形やパターンの不思議を探求するハンズオンのワークショップを開催します。オープンソースのソフトウェアとインターネットに公開された科学データを組み合わせることで、世界の見方を新しくするようなサイエンティフィックなメディアをデザインします。情報の可視化、自然が作り出す美しい形、インタラクティブなメディアやアートに興味をお持ちの方を対象とします。生物、物理、情報が好きな高校生の参加も歓迎します。

W09 田中浩也研究会 / 環境情報学部

田中浩也研究会では、3D プリンタをはじめとするデジタルファブリケーション機械が今後どのように活用されていくのかを、様々な実験を通じて研究しています。今回のワークショップでは建築や医療、食、そしてデジタル特性を活かしたものづくりなど、社会の様々な領域においてデジタルファブリケーション機器が持つ可能性を感じてもらうことを目的としています。企業と共同開発している工作機器などを複数台設置し、実際に体験できる空間になっておりますので、ぜひお立ち寄りください。

■展示情報の抜粋

A03 看護ベストプラクティス研究開発・ラボ 出展団体代表者:小松浩子 / 看護医療学部

・看護ベストプラクティス研究開発・ラボ 武田祐子

最善の看護実践(ベストプラクティス)に不可欠である、(1)看護実践の質保証を推進する実践研究開発、(2)個別化・最適化した看護実践を現場に浸透・波及できる看護リーダーの養成、(3)当事者の価値を尊重する倫理的看護実践の醸成、をめざしています。〈看護実践の質保証研究開発〉〈ベストプラクティス先導ナースのキャリア開発〉〈倫理的看護実践のためのシステム構築〉の 3 つの研究グループによる活動について報告します。

A20 白井宏美研究室 出展団体代表者:白井宏美 / 総合政策学部

・何が人を惹きつけるのかー非言語行動に着目してー Nonverbal Communication Project

「人を惹きつける」とは一体何なのか？と真正面から問われてみると、答えに窮するのではないのでしょうか。そこで、友人間の会話、ジャパネットたかた(高田明元社長)のテレビショッピング、朗読「羅生門」をデータとして、人気者や話題のプレゼンター、プロの朗読家がどのように人を惹きつけているかを明らかにします。主に、間・うなずき・視線・ジェスチャーなどの非言語行動に着目し、動画分析ソフト ELAN を用いて談話分析を行います。

A31.32 SFC バイオ 出展団体代表者:富田勝 / 環境情報学部

・SFC 発バイオベンチャー企業、東証マザーズ上場 富田勝

SFC が独自に開発した「メタボローム解析」は、数百種類の代謝物を一斉に測定することができる究極の成分分析です。この技術をベースに創業したヒューマン・メタボローム・テクノロジー株式会社(HMT)は、2013年12月に東証マザーズに上場しました。

HMT 社では、うつ病患者の血液中に「EAP」(エタノールアミンリン酸)という物質が減少することを世界で初めて発見し、うつ病診断の実用化を目指しています。

・次世代バイオ燃料「オイル産生藻類」伊藤卓朗

オイル産生藻類から得られる中性脂質は、バイオ燃料の次世代原料として期待されており、実用化に向けて生産コストの削減が求められています。私達は、日本各地から独自に採集したオイルを蓄積する微細藻類をコレクションし、生産性と成分、培養特性などを比較しており、これらから新たな有用株が見つかると考えています。また、メタボローム解析により微細藻類がオイルを蓄積する代謝制御機構を解明することで、高オイル生産株の作出を目指しています。

A41 環境－文化再生デザイン・ラボ 出展団体代表者:池田靖史 / 政策・メディア研究科

・慶應型共進化住宅開発実験実証プロジェクト 池田靖史

「コエボハウス」は、慶應義塾の複数の学部・研究科の研究室と、数多くの企業とが産学連携して生み出した、実証実験・研究用の新しい環境住宅です。健康的なライフスタイルを提案するため、自然素材を積極的に利用するとともに、再生可能エネルギーを取り入れ、さらに新しい情報技術を使ってそれらをスマートに制御できる未来のエコハウスの開発を目指しています。建設から実際の生活を模した居住実験までの一連の流れを通してデータを収集し、様々な研究および実験に取り組んでまいります。

A53 杉原由美研究会 出展団体代表者:杉原由美 / 総合政策学部

・にほんご教育/コミュニケーション 杉原由美

日本語にかかわる教育・学習・コミュニケーションの実践と研究を行う杉原由美研究会です。外国語/第二言語としての日本語にかかわる SFC での実践(「慶應義塾の『大学の世界展開力強化事業』(EBA)における ASEAN 7 大学対象の遠隔日本 語クラス」「多文化コミュニケーション授業」「留学生へのチューター活動@日本語研究室」)や、SFC の外で展開している研究(「難民への日本語支援」「日系人のアイデンティティ」「小学校での学びの談話分析」)等を紹介いたします。

A54 EBA コンソーシアム 出展団体代表者:村井純 / 環境情報学部

EBA コンソーシアムは、グローバル情報社会における科学技術・資源・経済の調和のとれたアジア地域発展のために、フィールド分析と根拠(エビデンス)に基づいた問題発見・分析・解決力を持つ人材の育成を目的とした、慶應義塾大学、ASEAN 地域のパートナー大学と国内外の企業による産学協同コンソーシアムです。日本とアジアの学生が遠隔授業、フィールドワーク、インターンシッププログラムを通して学んでいます。

A56 インターネットと社会・ラボ 出展団体代表者:村井純 / 環境情報学部

・手数料ゼロのクラウドファンディング moonshot 諸澤正樹

不特定多数の人からインターネットを介して資金を調達する購入型クラウドファンディングサービスを 2014 年 4 月 13 日にリリースしました。サービス名は“moonshot”です。moonshot は、人のアイデアをカタチに夢の実現をサポートするサービスです。

■スマホ未来コンテスト

いつも私たちと一緒に動き、私たちの行動を支援してくれる未来のモバイルメディアは、どのような形や機能を持ったモノに進化すべきでしょうか？スマートフォンの負の部分無くし、プラスの部分をさらに増幅していくには、どのように進化させていくべきでしょうか？今回は、未来のモバイルメディアのあるべき形と機能をモックアップ、3D デザイン、ポスター、アプリケーションなど様々な形式で全国の小学生から大学院生を対象に募りました。これからの社会を担うデジタルネイティブの若い人たちの創造性を、ぜひ、本コンテストを通じて実感していただきたいと思えます。

◆最終審査作品および佳作作品展示

東京ミッドタウン ホール B1F

◆最終審査会および表彰(セッション含む)

日時: 2014 年 11 月 22 日(土)14:40 - 16:40

場所: 東京ミッドタウン・ホール B1F セッション会場(大)

(WEB サイト: <http://sdc.sfc.keio.ac.jp/2014/>)

■未来の政策コンテスト

今年度からの新しい試みとして、ORF2014 では、「第 1 回未来の政策コンテスト！」を実施いたします。本コンテストでは、22 世紀の社会をよくする政策提言を、学生(日本国内の大学に在籍する大学生・大学院生)の皆さんに行っていただきます。今年の ORF 開催テーマ「PROTO-UNIVERSITY」という言葉には、大学の未来の姿を考えてみよう、という思いがこめられています。今大学で学ぶ学生の皆さんに、未来の社会をよりよくするにはどうしたらよいのか、真剣に考えていただき、そのアイデアを発表してもらうことで、おのずと未来の大学のあるべき姿についてもその輪郭が見えてくるのでは。そんな期待をこめて、本コンテストを開催いたします。事前の一次審査を突破した学生の雄弁な発表、政策の現場で活躍するエキスパートである審査員と学生との熱い議論の後、優秀賞(賞金 20 万円)を選出し、表彰を行います。

◆イベント概要

日時: 2014 年 11 月 22 日(土)10:00 - 11:30

場所: ニコファーレ

審査員:

- ・ 吉田雄人 横須賀市市長
- ・ 佐々木紀彦 NewsPicks 編集長
- ・ 竹中平蔵 総合政策学部 教授(元総務大臣他)
- ・ 家入一真 活動家・起業家

■プレミアムセッション

11月21日(金)

PS-01	オープニングトークー大学は世界の新しい姿を描けるか?
13:00 - 13:40 nicofarre ニコファーレ	脇田玲 環境情報学部 教授(ORF2014 実行委員長) 中澤仁 環境情報学部 准教授(ORF2014 副実行委員長) 水野大二郎 環境情報学部 専任講師(ORF2014 実行委員)
PS-02	遠隔教育実現～遠隔授業による教育地域間格差の是正を考える～
15:20 - 16:20 nicofarre ニコファーレ	遠藤利明 衆議院議員 / 自民党教育再生本部本部長 中川哲 日本マイクロソフト株式会社 業務執行役員 パブリックセクター 統括本部 文教本部長 國領二郎 常任理事 / 総合政策学部 教授 鈴木寛 政策・メディア研究科 教授 梅嶋真樹 政策・メディア研究科 特任講師
PS-03	PROTO 義塾～慶應義塾創立 200 周年に向けて～
18:00 - 19:20 nicofarre ニコファーレ	相磯秀夫 政策・メディア研究科 名誉教授 / 環境情報学部 初代学部長 安西祐一郎 独立行政法人日本学術振興会 理事長 河添健 総合政策学部 学部長・教授 村井純 環境情報学部 学部長・教授 徳田英幸 政策・メディア研究科委員長 / 環境情報学部 教授

11月22日(土)

PS-04	分野の壁を超える
11:50 - 13:20 nicofarre ニコファーレ	青木大和 法学部 政治学科 2年 / 若手活動家 / 政治活動家/ 学生 NPO「僕らの一歩が日本を変える。」代表 沖野のぞみ 総合政策学部 1年 / 東北ベンチャラー 黄俊彦 環境情報学部 1年 / 熱き SOROBAN 人 小島凌汰 環境情報学部 1年 / インターネットクリエイター / インターネットの孫 小林颯 環境情報学部 1年 / インタラクティブ映像作家見習い 近藤那央 環境情報学部 1年 / TRYBOTS 代表 田岡菜 総合政策学部 1年 / 慶應義塾大学工学部体育会少林寺拳法部 1年 仁科卓海 東京海洋大学海洋工学部海洋電子機械工学科 1年 / 見習い機関士 町田彩夏 法学部 政治学科 1年 / 女子高校生未来会議発起人 森雄一郎 総合政策学部 1年 / リアリスト 山中勇成 環境情報学部 2年 / ハッカー 他 2 名
PS-05	Speculative Visions of the Future Universityーアカルイ未来の大学を考える
13:40 - 14:40 nicofarre ニコファーレ	福原志保 アーティスト 若林恵 『WIRED』日本版編集長 水野大二郎 環境情報学部 専任講師
PS-06	高校生のための SFC 講座
10:00 - 11:40 東京 ミッドタウン・ホー ル B1F セッション会場 (大)	藁谷郁美 総合政策学部 教授 杉原由美 総合政策学部 准教授 廣瀬陽子 総合政策学部 准教授 秋山美紀 環境情報学部 准教授 植原啓介 環境情報学部 准教授 佐野ひとみ 環境情報学部 専任講師 水野大二郎 環境情報学部 専任講師 安田恵美子 看護医療学部 准教授 大前学 政策・メディア研究科 教授 仰木裕嗣 政策・メディア研究科 准教授
PS-07	クロージングトーク
19:40 - 20:00 nicofarre ニコファーレ	小川克彦 SFC 研究所 所長 / 環境情報学部 教授 脇田玲 環境情報学部 教授(ORF2014 実行委員長)

■スポンサーセッション

会場: 東京ミッドタウン・ホール B1F セッション会場(大)または(小)

11月21日(金)

SS-01	<p>＜東京ミッドタウン特別スポンサーセッション＞ コミュニティづくりと幸せづくり</p>
13:00 - 14:00 セッション会場 (大)	<p>加藤せい子 NPO 法人吉備野工房ちみち 理事長 高田彰一 共奏事ム局 代表 飯盛義徳 総合政策学部 教授 坂倉杏介 文学部 講師(非常勤) / SFC 研究所 上席研究員(訪問)</p>
SS-02	<p>＜シスコシステムズ合同会社スポンサーセッション＞ IoT とスマートシティ～情報の流れは街をどう変えるか～(仮)</p>
14:20 - 15:20 セッション会場 (大)	<p>シスコシステムズ合同会社様より1名 徳田英幸 政策・メディア研究科委員長 / 環境情報学部 教授</p>
SS-03	<p>＜特定非営利法人ファミリー・ビジネス・ネットワーク・ジャパンスポンサーセッション＞ 創業100周年、未来を託す兄弟での事業承継～岩瀨薬品株式会社～</p>
16:20 - 17:20 セッション会場 (大)	<p>岩瀨康昭 岩瀨薬品株式会社 代表取締役社長・三代目 岩瀨琢磨 岩瀨薬品株式会社 経営企画部長 兼 営業戦略部長 岩瀨裕樹 岩瀨薬品株式会社 経営企画部 担当部長 飯盛義徳 総合政策学部 教授 伊藤妃実子 SFC 研究所 上席所員(訪問)</p>
SS-04	<p>＜大日本印刷株式会社スポンサーセッション＞ パターン・ランゲージ 3.0: 企業の創造力を活性化する最先端の方法論</p>
17:40 - 18:40 セッション会場 (大)	<p>亀田和宏 大日本印刷株式会社 ソーシャルイノベーション研究所 所長 岩波純生 大日本印刷株式会社 研修部 池澤努 大日本印刷株式会社 AB センター マーケティング本部 大塚友美 トヨタ自動車株式会社 商品企画部 未来プロジェクト室 室長 岡田誠 富士通研究所 R&D 戦略本部 シニアマネージャー 三浦英雄 ウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社 「越境リーダーシップ」プロジェクト ディレクター 井庭崇 総合政策学部 准教授</p>

11月22日(土)

	<p>＜スマホ未来コンテスト協賛企業スポンサーセッション＞ PROTO-MEDIA: 繋がるモノ達の新しいデザイン・哲学</p>
14:40 - 16:40 セッション会場 (大)	<p>宇佐見正士 KDDI 株式会社 理事 技術統括本部 技術開発本部長 黒住吉郎 ソフトバンクモバイル株式会社 商品統括 副本部長 油川雄司 株式会社 NTTドコモ 移動機開発部 第一イノベーション推進担当 担当部長 徳田英幸 政策・メディア研究科委員長 / 環境情報学部 教授</p>
SS-05	<p>＜日清食品ホールディングス株式会社スポンサーセッション＞ 21世紀を支える環境思想の構築～寄付講座「環境革命の時代」を通して</p>
17:00 - 18:00 セッション会場 (大)	<p>ズナイデン房子 日清食品株式会社 取締役マーケティング部長 兼 日清食品ホールディングス株式会社 経営戦略本部 ブランド戦略室 室長 岡島成行 環境ジャーナリスト / 学校法人青森山田学園 理事長 関智子 国立青少年教育振興機構 青少年教育研究センター 主任研究員 村井純 環境情報学部 学部長・教授 一ノ瀬友博 環境情報学部 教授</p>
SS-06	<p>＜富士ゼロックス株式会社スポンサーセッション＞ 実践！ 創造的プロジェクトを成功に導くパターンとメディア</p>
11:20 - 12:20 セッション会場 (小)	<p>中埜博 C.E.S.T.(合)代表 堀切和典 富士ゼロックス株式会社 お客様共創ラボラトリー マネジャー 徳田英幸 政策・メディア研究科委員長 / 環境情報学部 教授 井庭崇 総合政策学部 准教授</p>

※プログラムは変更となる場合がございますことをご了承ください。

SFC Open Research Forum 2014

取材お申し込み用紙

日時: サテライトイベント: 11月17日(月)~20日(木) メインイベント: 11月21日(金)、22日(土)

開催場所: 東京ミッドタウン ホール B1F、ニコファーレ、SuperDeluxe ほか、都内各地のフィールド



大変お手数ですが、ご出欠を 11月19日(木)までにメールもしくはFAXにて、ご返信くださいますようお願い申し上げます。

★取材当日はお名刺をご持参のうえ、受付にお立ち寄りください。

貴社名	
媒体／番組名／ご所属	
お名前	
ご連絡先電話番号	
メールアドレス	@
取材希望	※取材希望の日時をご記入ください
カメラの有無	有 動画 台 スチル 台 無
連絡欄	

※メインイベント開催準備日(20日)、開催日(21日・22日)につきましては、03-3479-4006までご連絡ください。